

《雑学風味》「冷麦とそうめんの違い」

原材料はどちらも小麦と塩ですが、そうめんは丸棒状で太さ0.8～1.3^{ミリ}、角棒状では0.7～1.2^{ミリ}。一方の冷麦は、丸棒状で1.3～1.7^{ミリ}、角棒状で1.2～1.7^{ミリ}のものを指すそうです。

まちのできごと

交通死亡事故ゼロ

2,500日達成を表彰

6月29日をもって、交通死亡事故ゼロ2,500日を達成した当町に対し、7月15日、役場議場において、交通死亡事故ゼロ2,500日達成表彰伝達式が行われました。

式ではまず、佐々木卓郎山本地域振興局長が県知事からの表彰状を、佐藤政博能代警察署長が県警本部長からの顕彰をそれぞれ石岡町長に伝達されました。

これを受けて石岡町長は「当町は過去に、3,150日の記録を持っており、それをはるかに上回る記録を目標に交通安全に取組んでいます。そのためには、1日1日の積み重ねとその日その時の注意が必要であり、あらゆる機会を通じてドライバーや歩行者に注意義務を守るようお願いしていきたい」と今後の抱負を語りました。※全県の過去最長記録は、4,001日（旧峰浜村）



いっそう気を引き締め

県商工青年主張発表大会

浅利幸明さん最優秀賞

7月24日、秋田ビューホテルにおいて、商工会青年部主張発表第11回大会が開催され、当町の浅利幸明さん（荒町）が最優秀賞に輝き、10月17日に行われる北海道・東北ブロック予選大会に、秋田県代表として出場することになりました。

この大会は、県内の商工会青年部員が、青年部員としての日頃の活動を発表し、若手後継者としての資質向上や、今後の青年部活動、地域活性化に活かす目的で行われています。



堂々と発表する浅利さん

浅利さんは、観光案内所を兼ねた施設「白神山地 森のえき」の運営に携わりながら感じた問題点、解決に向けた特産品開発等の活動を紹介し「自己の利益のためだけでなく地域のことを真剣に考え、仲間が苦勞の中でたたずむ時そとと背中を押し、自分の商売に命をかけて取組み、行っている活動に心から胸をはれる部員になりたい」と発表しました。

地域のつながりを求めて

町社会福祉大会

7月26日、総合開発センターにおいて、藤里町社会福祉協議会（小森正直会長）による第33回藤里町社会福祉大会が開催され、約250名もの関係者、町民が参加しました。

「福祉でまちづくりのつながりがつくる元気の出るまちづくり」をテーマに開かれた本大会では、社会福祉活動や地域福祉の増進などに尽力された方々に対して、町社会福祉協議会長より表彰状が授与されたほか、東京国際大学人間社会学部専任講師の中島修氏による「藤里町地域福祉活動計画について」と題する講演や、児童生徒らによる福祉活動等についての体験発表が行われました。



功績を称えて

その後、チャリティーバザーが催され、集まった収益金は、藤里町の子育て支援のために使わせていただくこととしました。